

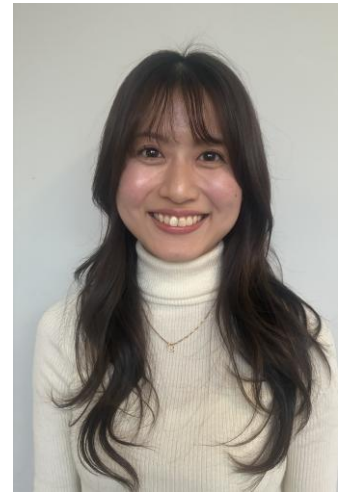
卒業生インタビュー:

難関「公認会計士試験」合格

13 期生 松元 愛由さん

(福岡大学卒 / EY 新日本有限責任監査法人 内定)

「講倫館での学びと挑戦が、夢を叶える力になった」



2025 年度(令和 7 年度)、合格率わずか 8%という超難関の国家資格「公認会計士試験」に見事合格された 13 期生の松元さん。芸能の道から一転、会計のスペシャリストへと進んだ彼女に、母校での思い出と後輩へのメッセージを聞きました。

講倫館を選んだ理由と独自の学び

夢を追いかけながら、自分らしく学べる環境

中学時代(当仁中出身)から芸能活動を続けており、俳優の道を目指していたため、自分のスタイルに合わせて柔軟に科目が選べる総合学科に魅力を感じて福岡講倫館への進学を決めました。

総合学科ならではの科目選択

2 年次からは進学を意識したカリキュラムを組みつつ、興味があった「中国語」を選択。3 年次まで継続して学びました。自分の「好き」や「興味」を大切にしながら学習を進められたことは、今の広い視野につながっています。

公認会計士を目指したきっかけ

コロナ禍の逆境を「チャンス」に変えて

大学 2 年生の秋、コロナ禍の影響でオンライン授業が続き、目標にしていた芸能活動も制限されてしまいました。「このまま時間を過ごすのはもったいない」と一念発起し、自分の武器となる「手に職」を探す中で出会ったのが公認会計士という資格でした。

講倫館の「簿記」が大きなアドバンテージに

講倫館には簿記の授業があり、公認会計士や税理士を目指すには最高の環境が整っています。高校時代に基礎を学ぶことは、大学進学やその先の試験準備において、周りに対して大きなリード(アドバンテージ)になります。

後輩たち、そして中学生の皆さんへ

「がんばる経験」は早ければ早いほどいい

人生は挑戦の連続です。どこかで「今は絶対にがんばらなければならない」というタイミングが必ずやってきます。その時に逃げずにやり抜くことで、挑戦の仕方や勝ち方が身につき、将来の糧になります。本気で努力した先には、必ず明るい未来が待っています。

講倫館は、目標を持つ人を支えてくれる場所

講倫館は先生も生徒も温かく目標を持っている人が多いので、切磋琢磨できる素晴らしい環境です。充実した3年間を過ごし、ぜひ自分の夢を掴み取ってください！

【公認会計士とは？】 企業の財務諸表が正しいかどうかをチェックする「監査」を行う唯一の専門家です。経営コンサルティングや税務など、経済社会のドクターとして幅広く活躍する国家資格です。(日本公認会計士協会 HP 参考)